荒尾競馬場跡地の今、そして、これから

84年間の長きにわたり、荒尾市のシンボルであり続けた荒尾競馬。多くの功績を残しながらも、平成24年に惜しまれつつも幕を下ろしました。今、競馬場跡地は新たな価値を創造し、次世代に引き継ぐ新しい市のシンボルとして生まれ変わろうとしています。跡地を中心とした、35ヘクタールという広大な土地では、土地区画整理事業が着々と進んでいます。真っ白なキャンバスを彩るまちづくりのコンセプトはウェルネス拠点のまちづくり。ウェルネスとは、輝くように生き生きとしている状態（Ｄｕｎｎ、１９５９）などと定義される概念です。子どもから高齢者まで全ての人々が心豊かに健康で快適に過ごせるまちをつくることを目指しています。加えて、「荒尾ならではのウェルネス」という観点から、新たなコンセプトも策定し、この地にしかない「価値」の創造も目指していきます。さらに、先進的技術を活用したスマートシティのまちづくりと相互に連携し合うことでより高い効果を生み出す取り組みも始まりました。新たなステージに挑むこの地域の現状をお届けします。

「南新地地区ウェルネス拠点基本構想」を策定しました

『有明海の夕陽が照らすウェルネスタウンあらお』

居住環境・交流環境を創出するため新たなまちづくりのコンセプトです。有明海に臨む素晴らしい眺望や豊かな自然環境を生かして、都会にはないゆったりとした時間のなかで、こころとからだを癒し、明日への活力を生み出す空間づくりと、居住者や来訪者の自己啓発につながる機能を備えながら、暮らしやすいだけでなくワンランク上のライフスタイルが実現できるまちを目指します。

Wellness

■5つの機能大分類

☆安全で健康に良い地元の特別な食を楽しむことができる
～荒尾ならではの食にスポットをあてる～

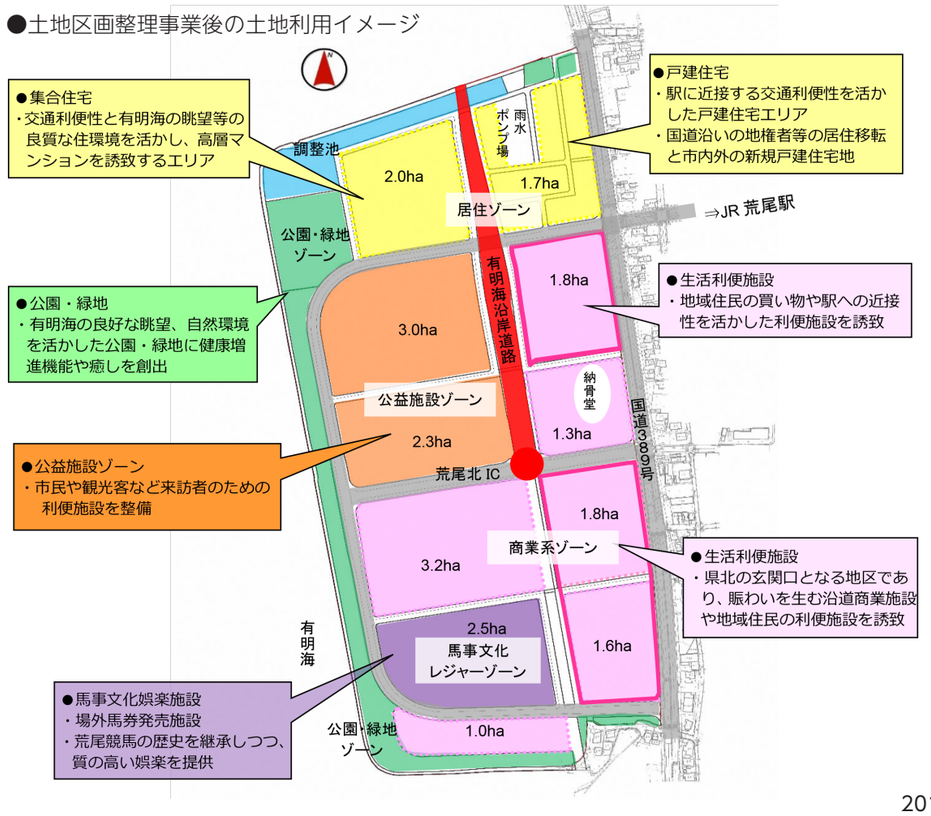
☆一日中飽きずに遊んだり、学ぶことができる
～最新技術や特別な体験を提供する～

☆のんびりリラックスできて健康になれる
～来訪者の要求を意識した心の健康に重視する～

☆気持ちよく運動し汗を流してリフレッシュできる
～身体的な健康を意識させ、象徴である有明海一帯や景観を活かす～

☆自然の中で家族や友人とアクティブに遊ぶことができる
～子育て世代が住みやすい、子育てしやすい環境をつくる～

●土地区画整理事業後の土地利用イメージ



問都市計画課区画整理係
☎63・1635
問政策企画課総合政策室
☎63・1273

●機能連携型ウェルネス拠点のイメージ　※記載する施設、サービスや写真は必ず整備されるものではありません。

先進的技術を活用した快適なまちづくり「スマートシティ」

民間事業者や学術研究機関とともに取り組んでいます。ことし5月には、国土交通省が募集したスマートシティのモデル事業「重点事業化促進プロジェクト」に選定されました。国による支援も受けながら取り組みを進めていきます。8月23日、共同提案者である民間事業者・大学の皆さんと、取り組みを推進するための協議会を設立しました。産学官が連携して、まずはデータ利活用やヘルスケア、エネルギー、モビリティの分野の取り組みを進めていきます。

Smartcity

【あらおスマートシティ推進協議会】
荒尾市、㈱JTB 総合研究所、㈱グローバルエンジニアリング、三井物産㈱、有明エナジー㈱、独立行政法人都市再生機構の６者の正会員に加え、アドバイザー会員として、東京大学大学院情報理工学系研究科ソーシャル ICT センター、東北大学 COI 東北拠点の２大学、サポート会員の㈱ iTiD コンサルティング、アーサー・ディ・リトル・ジャパン㈱で構成しています。